

# 注意事項及び警告事項

1. 排気筒を取り扱う場合は、保護具などで素肌が直に触れない様にして下さい。身体に傷を負う可能性があります。
2. 排気筒は、改造などをしないで下さい。
3. 当社製品を、ボイラー用排気筒以外の目的に決して使用しないで下さい。
4. 組立ての際、差込型の場合接合重ね部にステンレスリベット等で結合して下さい。リベットの場合は、4×4等を使用し、適切な下穴をあけてください。
5. 当社製品を途中中断・改造などを行った場合強度性能に保証は出来ません。
6. 長さが中途半端な場合スライド管の使用又は、当社に長さ指定の上ご注文下さい。
7. 当社排気筒を途中切断など行わないで下さい。万一加工切断を行った場合は、切り口などを十分に研磨し第三者に、傷つけない様に確認してください。
8. 排気筒外部トップより雨水が入る可能性がありますので途中にドレン抜きT管を使用して雨水がボイラーに進入しない様にして下さい。
9. 当社製品を他社製品の併用使用は、しないで下さい。排気漏れの恐れがあります。
10. 外部貫通部を施工の場合放火区画処理を必ず行ってください。熱で壁材などが焼ける恐れがあります。
11. 排気筒の支持は、十分に行ってください。目安は、2mに一ヶ所の支持をお願いいたします。
12. 支持部は、十分に荷重に耐えうる部材に止めてください。
13. 排気筒接続は、ボイラー側より施工し 排気空気が流れやすい様に施工してください。
14. 排気筒工事終了後第三者に火傷などを負わさない様、熱絶縁工事(保温工事)を行って下さい。保温厚み材質は、保温工事業者(有資格者)にご相談下さい。
15. 工事完了後の廃材は、リサイクル業者又は 産業廃棄物業者などに処理を依頼してください。
16. 処理が出来ない場合は、箱などに入れ第三者に傷を負わさない様に梱包していただき当社へ送ってください。  
(運送料は御社にて負担願います。廃材処分料は、有料となります。) 処分に関しては当社製品に限ります。

## 排気筒工事完成後今一度下記の事を御確認下さい。

- ①支持金物は、確実に取り付けましたか？支持金物の数量は適切ですが？
- ②第三者に傷・火傷などを負わす事がないですか？
- ③外部より雨水・水など入りませんか？
- ④壁貫通処理は、出来ていますか？
- ⑤接合部は、十分に重ねましたか？
- ⑥接合部は、十分に固定しましたか？
- ⑦他に何か見て気づきませんか？
- ⑧工事ご苦労様でした。

※施工の際のこんな物が欲しいとの御希望は、ご連絡下さい。強度・性能など計算の上お見積り致します。  
当社も確実簡単な施工の為製品開発に努めております。是非皆様のお声をお聞かせ下さい。  
下記迄御連絡又は、FAXお待ちしております。